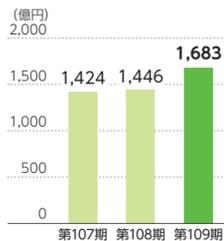


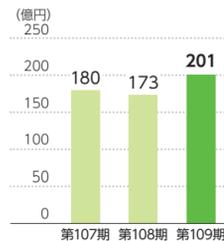


| 科目 | 第107期 (2019年度) | 第108期 (2020年度) | 第109期 (2021年度) |
|------------------|----------------|----------------|----------------|
| 売上収益 | (億円) 1,424 | 1,446 | 1,683 |
| 営業利益 | (億円) 180 | 173 | 201 |
| 税引前利益 | (億円) 179 | 177 | 204 |
| 親会社の所有者に帰属する当期利益 | (億円) 137 | 135 | 142 |
| 基本的1株当たり当期利益 | (円) 692.61 | 691.33 | 725.73 |
| 資産合計 | (億円) 2,469 | 2,569 | 2,826 |
| 資本合計 | (億円) 1,666 | 1,855 | 2,007 |
| 親会社の所有者に帰属する持分 | (億円) 1,650 | 1,838 | 1,992 |
| 親会社所有者帰属持分比率 | (%) 66.8 | 71.6 | 70.5 |
| 1株当たり親会社所有者帰属持分 | (円) 8,453.07 | 9,418.64 | 10,207.32 |

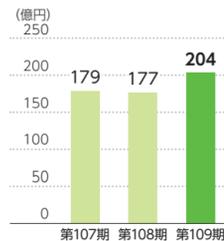
売上収益



営業利益



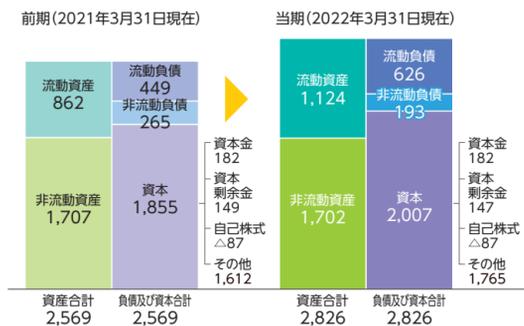
税引前利益



親会社の所有者に帰属する当期利益



財政状態 (単位: 億円)



キャッシュ・フローの状況 (単位: 億円)



※億円単位の金額は、端数を四捨五入して表示しております。

第109期剰余金の配当(期末配当)に関する取締役会決議

当社は、剰余金の配当等の決定に関して、中長期的な成長の実現に向け企業体質の強化を図るとともに将来の事業展開に備えること、および、安定的、継続的な配当を実施することを基本方針としております。2022年4月19日開催の当社取締役会において、第109期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の期末配当は、1株当たり125円とすることを決議いたしました。

1株当たりの配当金 (円)

| | 108期 | 109期 |
|----|------|------|
| 中間 | 85 | 85 |
| 期末 | 85 | 125 |
| 年間 | 170 | 210 |

会社の概要 (2022年3月31日現在)

商号 株式会社クレハ
 英文社名 KUREHA CORPORATION
 本社 東京都中央区日本橋浜町3-3-2
 設立 1944年6月21日
 資本金 18,169百万円
 グループ従業員数 4,259名(単独: 1,663名)
 連結対象会社数 30社(連結子会社28社、持分法適用会社2社)
 ホームページ <https://www.kureha.co.jp/>

役員 (2022年6月24日現在)

代表取締役社長 小林 豊
 取締役専務執行役員 佐藤 通浩
 取締役常務執行役員 野田 義夫
 取締役常務執行役員 田中 宏幸
 社外取締役 戸坂 修
 社外取締役 樋口 一成
 社外取締役 飯田 修
 常勤社外監査役 桐山 勝
 常勤監査役 吉田 徹
 社外監査役 押味 由佳子
 常務執行役員 西畑 直光
 常務執行役員 陶山 浩二
 執行役員 名武 克泰
 執行役員 米澤 哲
 執行役員 佐藤 浩幸
 執行役員 木田 淳

株式の状況 (2022年3月31日現在)

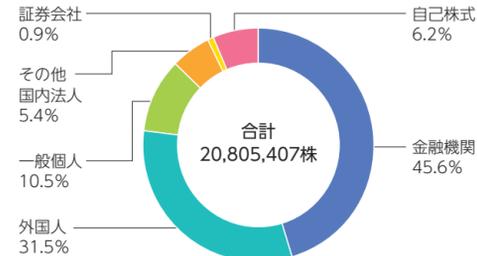
発行可能株式総数 60,000,000株
 発行済株式総数 20,805,407株
 株主数 9,730名

大株主の状況 (2022年3月31日現在)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|--|---------|---------|
| 日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口) | 2,983 | 15.3 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口) | 1,693 | 8.7 |
| 明治安田生命保険相互会社 | 1,374 | 7.0 |
| 東京海上日動火災保険株式会社 | 550 | 2.8 |
| JP MORGAN CHASE BANK 385632 | 416 | 2.1 |
| 株式会社みずほ銀行 | 400 | 2.0 |
| J.P. MORGAN BANK LUXEMBOURG S.A. 381572 | 373 | 1.9 |
| STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505012 | 323 | 1.7 |
| 株式会社日本カストディ銀行(信託口4) | 273 | 1.4 |
| みずほ信託銀行株式会社 | 266 | 1.4 |

注) 持株数は表示単位未満の端数を切り捨てて表示しています。持株比率は自己株式を控除して計算しています。

株式の所有者別構成比 (2022年3月31日現在)



株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 6月

株主確定基準日 定時株主総会 3月31日
 期末配当 3月31日
 中間配当 9月30日
 その他必要がある時は、取締役会の決議によってあらかじめ公告します。

公告方法 当社のWebサイトに掲載します。
 (https://www.kureha.co.jp/ir/stocks/koukoku.html)
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 東京都千代田区丸の内1-3-3
 みずほ信託銀行株式会社

お取扱窓口

証券会社等に口座をお持ちの場合、住所変更や買取請求等株主様の各種お手続きは、原則として口座を開設されている証券会社等経由で行っていただくこととなりますので、お取引の証券会社等へご連絡をお願いいたします。証券会社等に口座をお持ちでない場合(特別口座の場合)、下記のお取扱店にてお取次いたします。なお、支払明細の発行に関するお手続きにつきましては、みずほ信託銀行の下記連絡先にお問合せください。

- お問合せ先 〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
 みずほ信託銀行 証券代行部
 フリーダイヤル 0120-288-324
 (土・日・祝日を除く 9:00~17:00)
- お取扱店 みずほ信託銀行(※)
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
- 未払配当金のお支払 みずほ信託銀行(※)およびみずほ銀行
 (※)トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。

株式会社クレハ
 KUREHA CORPORATION

KUREHA REPORT

クレハレポート 第109期 期末報告書

2021年4月1日 → 2022年3月31日



トップメッセージ

サステナビリティ経営を推進

株式会社クレハ
 KUREHA CORPORATION

証券コード: 4023

サステナビリティ経営を推進



ごあいさつ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社第109期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)の「クレハ レポート」をお届けします。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2022年6月

代表取締役社長

小林 豊

当期の概況について

わが国を含む世界経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が緩和し、持ち直しの動きがみられましたが、同感染症の影響が未だに残っていることに加え、原燃料価格の高騰、ウクライナ情勢の動向等による影響が懸念され、先行きが不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社は従業員の安全な労働環境を確保し、感染予防に取り組みながら定期的に事業活動を継続してまいりました。機能製品事業、化学製品事業を中心に、原燃料価格の高騰による業績への悪影響はあったものの、適宜、製品価格への転嫁を進めてまいりました。

当期は、フッ化ビニリデン樹脂やPPS樹脂の販売が拡大し、Withコロナの暮らしの中で家庭用ラップや釣糸の売上が伸び、機能製品事業に関わる固定資産の減損損失を計上したものの、営業利益は前期比16.7%増の201億42百万円、税引前利益は同14.9%増の203億98百万円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同5.0%増の141億64百万円となりました。

なお、当期期末配当金は前期から40円増配し、1株につき125円とさせていただきます。

気候変動・経済・社会の変化への順応とサステナビリティ経営の推進

国内では新型コロナウイルス感染症の影響は緩和に向かっているものの、中国においては感染予防のための外出制限等が生産や物流の停滞を生じています。またロシアのウクライナ侵攻や海運のひっ迫等により、世界的に原燃料価格の高騰やサプライチェーンは厳しさを増しており、世界経済と

社会生活に大きな影響を及ぼしています。日本では、気候変動への対応のみならず、エネルギー安全保障の観点からも化石燃料への依存度をいかに低減するかが重要な課題となっています。

当社は、このように激変する世界にあっても、企業理念に立脚し、「持続可能な社会への貢献」と「中長期的な企業価値の向上」を実現すべく、取締役会のもとに「サステナビリティ委員会」を新設し、「クレハのサステナビリティ経営」を推進していくこととしました。激変する世界にあっても、技術立社企業として「クレハらしさ」を発揮し、外部環境を常に意識しながら他に先駆けて変化に順応し、差別化された製品と技術により、さまざまな社会課題の解決に貢献する事業の育成・拡大に取り組んでまいります。

2022年度通期業績予想について

2022年度通期の業績予想につきましては、フッ化ビニリデン樹脂やPPS樹脂、生分解性を有するPGA樹脂加工品など機能製品事業の販売拡大と、原燃料の適切な価格転嫁やコスト低減に取り組み、売上収益は前期比6.9%増の1,800億円、営業利益は同9.2%増の220億円、親会社の所有者に帰属する当期利益は同13.0%増の160億円を予想しております。

当社は、これからは「技術立社」企業としての存在感を高め、新たな価値を創出し社会に貢献し続ける高付加価値型企業となることを目指してまいります。

株主の皆様には、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

詳細はこちらをご覧ください

<https://www.kureha.co.jp/ir/policy/segment.html>



機能製品事業

売上収益 **666.9** 億円 (前期比50.0%増)

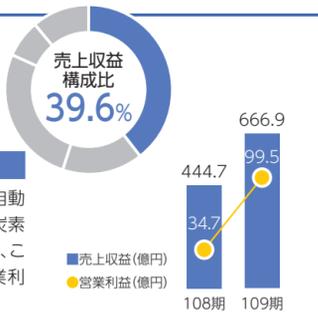
機能樹脂分野

リチウムイオン二次電池用バインダー向けのフッ化ビニリデン樹脂、PPS樹脂、シェールオイル・ガス掘削用途向けのPGA樹脂加工品等の売上げが増加、米国のPGA樹脂製造会社において生産活動を中止した影響はありますが、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。



炭素製品分野

高温炉用断熱材および自動車部品用摺動材向けの炭素繊維の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。



化学製品事業

売上収益 **261.6** 億円 (前期比11.1%増)

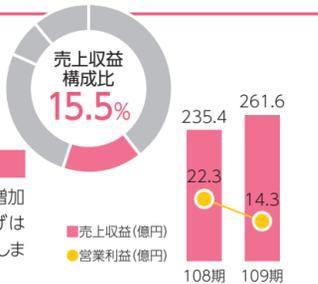
農薬・医薬分野

農薬・園芸用殺菌剤の売上げは前期並みとなり、慢性腎不全用剤「クレメジン」の売上げは増加し、この分野での売上げは増加しましたが、原燃料価格高騰の影響により営業利益は減少しました。



工業薬品分野

有機薬品類の売上げが増加し、この分野での売上げは増加し、営業損失は減少しました。



樹脂製品事業

売上収益 **447.7** 億円 (前期比5.7%増)

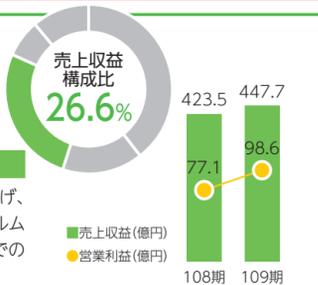
コンシューマー・グッズ分野

家庭用ラップ「NEWクレラップ」およびフッ化ビニリデン釣糸「シーガー」の売上げが増加し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。



業務用食品包装材分野

塩化ビニリデン・フィルムはアジア地域で売上げ、営業利益がともに増加、欧州の熱収縮多層フィルムは売上げが増加、営業損失は減少し、この分野での売上げ、営業利益はともに増加しました。

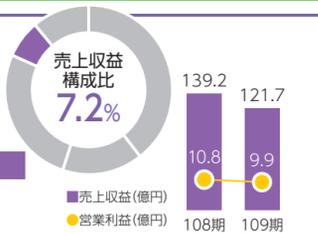


建設関連事業

売上収益 **121.7** 億円 (前期比12.5%減)

建設関連

民間工事および公共工事の減少により、売上げ、営業利益はともに減少しました。

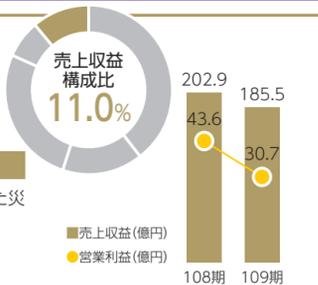


その他関連事業

売上収益 **185.5** 億円 (前期比8.6%減)

その他関連

環境事業では、低濃度PCB廃棄物等の産業廃棄物処理は前期並みでしたが、前期にあった災害廃棄物処理等が完了していることにより、売上げ、営業利益はともに減少しました。運送事業では、売上げ、営業利益はともに前期並みとなりました。病院事業では、売上げ、営業損失はともに前期並みとなりました。



クレハのSDGs

PPS樹脂

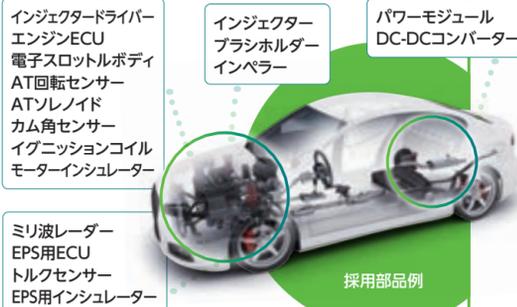
フォートロンKPS



世界のさまざまな国や地域で、地球温暖化の影響が報告されています。温暖化は地球にとって深刻な問題であり、喫緊の課題です。

自動車の重量を軽くすることで燃費の向上を図り、温室効果ガスの削減に貢献することが期待されています。自動車の総重量の約7割を占める金属製部品の代わりに軽量な樹脂素材の利用が進んでいます。

クレハのPPS樹脂「フォートロンKPS」は、機械強度、耐熱性、耐薬品性、難燃性に優れたスーパーエンジニアリングプラスチックです。伸びや衝撃にも強く、成形加工も容易なので、自動車のエンジン周辺や電装品の外装など金属代替の部品用途に需要が増加しています。



当社はポリプラスチック株式会社とPPS樹脂につき事業提携しております。ポリプラスチック株式会社は当社PPS樹脂を用いた射出成型用材料を「ジュラファイド®」として、全世界で展開しております。採用部品例は「ジュラファイド®」での採用例となります。

採用部品例

第109回 定時株主総会決議ご通知

拝啓 平素は、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、6月24日開催の第109回定時株主総会において、下記のとおり報告ならびに決議されましたので、ご通知申し上げます。

| 報告事項 | 決議事項 |
|--|---|
| 1. 第109期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)事業報告、連結計算書類ならびに会計監査人および監査役会の連結計算書類監査結果報告の件 2. 第109期(2021年4月1日から2022年3月31日まで)計算書類報告の件 | 第1号議案 定款一部変更の件 本件は、原案のとおり承認可決されました。 第2号議案 取締役7名選任の件 本件は、原案のとおり承認可決され、小林 豊、佐藤 通浩、野田 義夫、戸坂 修、樋口 一成の5名が再選され、田中 宏幸、飯田 修の2名が新たに選任され、それぞれ就任いたしました。 第3号議案 取締役に対する賞与支給の件 本件は、原案のとおり承認可決され、当期の業績等を勘案し、業績連動賞与として、社外取締役を除く当期末の取締役3名に対して総額73,000千円の役員賞与を支給します。 |

2022年6月24日

東京都中央区日本橋浜町3-3-2

株式会社クレハ

代表取締役社長 小林 豊

記

敬 具